

「子育て環境に対する意識調査」に関するアンケート調査結果

子育て支援課

1 調査目的

県では、少子化対策は社会全体で取り組むべき課題であるとの認識に立ち、「安心して子どもを産み育てることができる岐阜県」を目指して各種施策を推進しています。

今回、「子育てに関する環境」に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の少子化対策に関する取り組みの基礎資料とさせていただくため、調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象 : 県政モニター818人(郵送モニター282人、インターネットモニター536人)

調査方法 : 郵送及びインターネット

調査期間 : 令和5年6月15日～7月7日

回収結果 : 742人(回収率:90.7%)

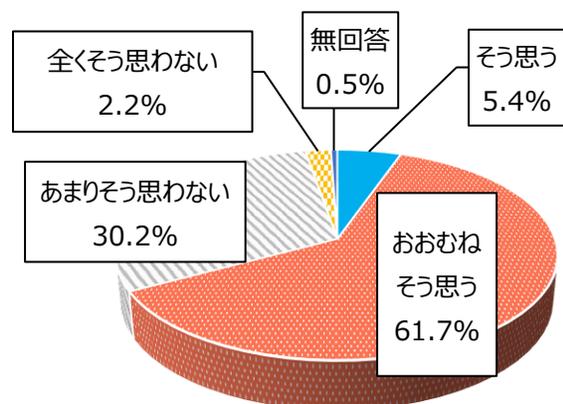
その他 : 構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

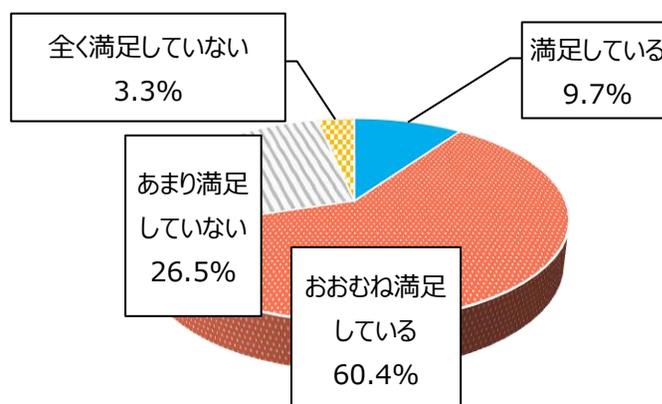
3 結果概要

○岐阜県の子育て環境について

・岐阜県は子育てにやさしい社会であるか



・岐阜県で子育てをしていること、または子育てをしたことについて満足しているか



○結婚や家庭を持つことに夢や希望を持てる社会について

結婚や家庭を持つことに夢や希望を持てるために、何が必要かについて、「子育て支援の充実」が64.1%と最も高く、次いで「雇用対策、労働環境の改善」が60.1%となっている。

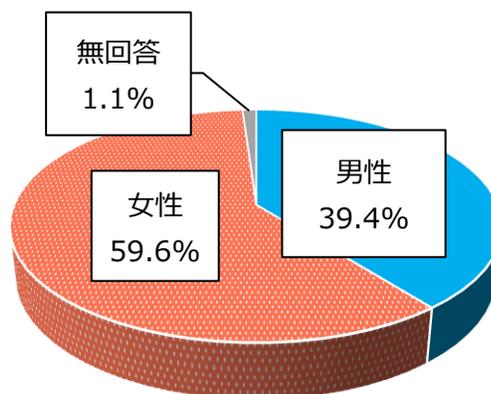
○仕事と子育ての両立について

男女ともに働きながら安心して子育てできるために、何が必要かについて、「多様な働き方ができること」が27.7%と最も高く、次いで「子どもの預かり先、サービス内容の充実」が23.0%となっている。

4 回答者属性

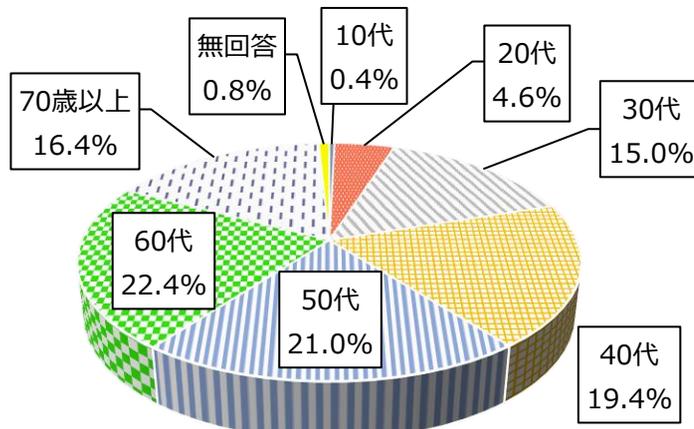
(1)性別

	人数	構成比
男性	292	39.4%
女性	442	59.6%
無回答	8	1.1%
合計	742	100.0%



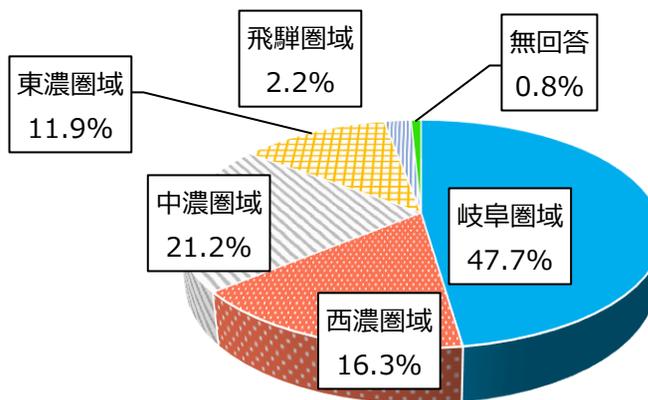
(2)年代別

	人数	構成比
10代	3	0.4%
20代	34	4.6%
30代	111	15.0%
40代	144	19.4%
50代	156	21.0%
60代	166	22.4%
70歳以上	122	16.4%
無回答	6	0.8%
合計	742	100.0%



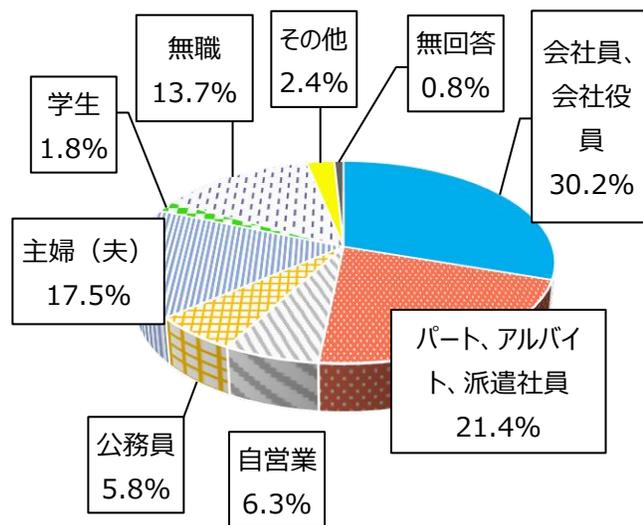
(3)居住圏域別

	人数	構成比
岐阜	354	47.7%
西濃	121	16.3%
中濃	157	21.2%
東濃	88	11.9%
飛騨	16	2.2%
無回答	6	0.8%
合計	742	100.0%



(4)職業別

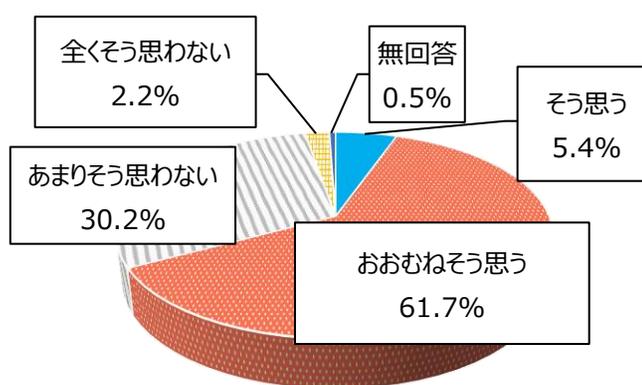
	人数	構成比
会社員、会社役員	224	30.2%
パート、アルバイト、派遣社員	159	21.4%
自営業	46	6.2%
公務員	43	5.8%
主婦(夫)	131	17.7%
学生	13	1.8%
無職	102	13.7%
その他	18	2.4%
無回答	6	0.8%
合計	742	100.0%



5 調査結果

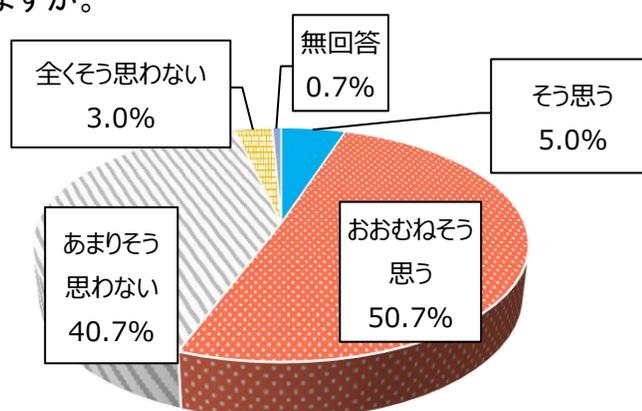
問1 あなたは、岐阜県が子育てにやさしい社会だと思いますか。

	人 数	構成比
そう思う	40	5.4%
おおむねそう思う	458	61.7%
あまりそう思わない	224	30.2%
全くそう思わない	16	2.2%
無回答	4	0.5%
合 計	742	100.0%



問2 あなたは、岐阜県が結婚・出産・子育てについて、夢や希望を持ったり、楽しい・頑張ろうなど、前向きに考えることができる社会だと思いますか。

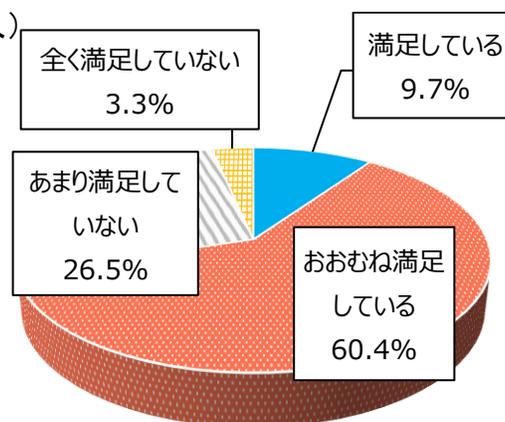
	人 数	構成比
そう思う	37	5.0%
おおむねそう思う	376	50.7%
あまりそう思わない	302	40.7%
全くそう思わない	22	3.0%
無回答	5	0.7%
合 計	742	100.0%



問3 あなたは、岐阜県で子どもを育てていること、または育てたことに満足していますか。

(子育て中及び子育て経験者／回答者627人)

	人 数	構成比
満足している	61	9.7%
おおむね満足している	379	60.4%
あまり満足していない	166	26.5%
全く満足していない	21	3.3%
合 計	627	100.0%

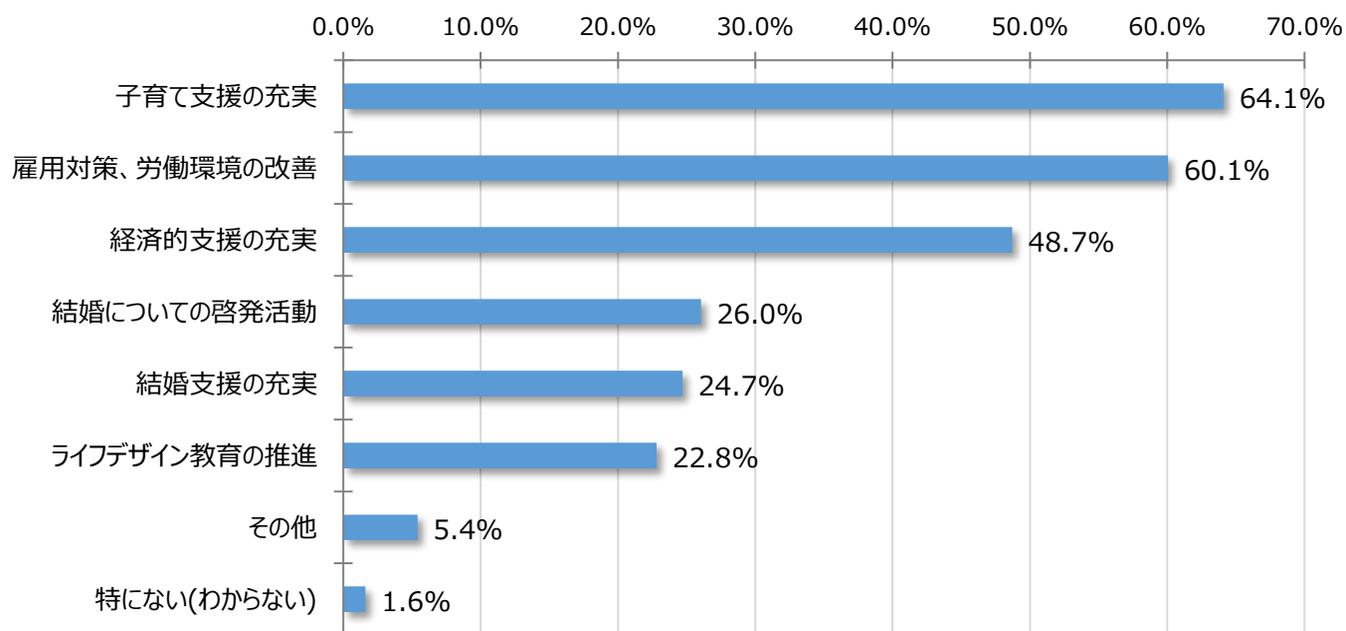


問4 あなたは、結婚や家庭をもつことについて夢や希望を持てる社会にするためには何が必要だと思いますか。(複数回答)

	人 数	構成比
子育て支援の充実（子どもの預かり先の充実など）	475	64.1%
雇用対策、労働環境の改善（若者の就労支援、テレワークの推進など）	445	60.1%
経済的支援の充実（結婚祝金、出産祝金の給付、住宅取得に対する助成など）	361	48.7%
若者が結婚を肯定的に捉えることができるような啓発活動の推進	193	26.0%
婚活支援の充実（男女の出会いの場の提供）	183	24.7%
ライフデザイン教育の推進（若者が自らの人生設計を考える機会の提供）	169	22.8%
その他	40	5.4%
特にない（わからない）	12	1.6%
合 計	1878	

「その他」のうち主なもの

- ・ 結婚や子育てで仕事を辞めても求めれば復帰できる社会であること。
- ・ 不妊治療への助成
- ・ 子育てや家族に対するイメージの向上
- ・ 多様性を受け入れられる社会の実現
- ・ 心や時間のゆとり



問5 あなたは、男女がともに働きながら安心して子育てができる社会の実現のために、必要なものは何だと思いますか。

(最も必要なもの1つ)

	人 数	構成比
多様な働き方ができること（短時間勤務や在宅勤務など）	209	27.7%
子どもの預かり先（保育園、放課後児童クラブなど）やサービス内容が充実すること	174	23.0%
出産・子育てなどで気軽に休みが取れること	103	13.6%
早く家に帰ることができること（時間外労働を減らすこと）	79	10.5%
配偶者や家族が子育てに参加すること	72	9.5%
出産・子育てなどで退職しても再び働くことができるような行政の支援があること	69	9.1%
その他	41	5.4%
特にない（わからない）	7	0.9%
無回答	1	0.1%
合 計	755	100.0%

※重複して回答いただいた方もいるため、総数が全回答者数よりも多くなっています。

「その他」のうち主なもの

- ・ 所得の向上、安定した収入
- ・ 社会や周りの人たちの意識の改革
- ・ 職場の同僚や祖父母など、子育ての当事者以外の負担軽減
- ・ 上記のいずれも大切

